

# あきつ



No.11 6月 24日  
校長 梅田 博子

**社会で必要とされる力とは？** 以下は、新聞記事で見つけた、他県の小学校の校長先生の文章の一部です。印象に残ったので、ご紹介したいと思います。

「あなたにとって、お子さんは大切な存在ですか？」と尋ねると保護者は大きく首を縦に振った。しかし、「あなたが職場の責任者なら、あなたのお子さんを採用しますか？」と問うと、多くは戸惑いの表情を見せた。後で、複数の保護者に「あの時、どうして迷ったのですか？」と尋ねると、「うちの子は、あいさつができないから。」とか、「うちの子は、すごく人見知りなんです。」などと話してくれた。保護者だからこそ、自分の子どもの良さも直さなければいけないところも、しっかりと把握している。学校には「社会で必要とされる人材を育てる」という役割がある。では、社会で必要とされる力とは何だろう。「学力」「体力」「コミュニケーション力」などいろいろあるだろう…。(後略)

熊本市の教育基本計画の基本理念は『豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む』です。学校では、『社会で必要とされる力』とは何か、授業や日々の生活の中で、『社会で必要とされる力』をどのように育てていくか、考えながら取り組んでいきます。

## 4年3組 国語「走れ」の研究授業がありました！

登場人物のぶよの気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わり結び付けて想像して読むことが目標です。また、運動会という身近な出来事について自分や友達の経験と結びつけて考えることもできました。

授業が終わった時「もっと勉強したい！」「まだ続きがほしい」という子どもたちの声に感激しました。

児童一人一人が単元の終わりに書く『のぶよのひみつ日記』の完成も楽しみです！



## 熊本市現代美術館「和田誠展」に行きました。

絵心は全くありませんが(涙)、絵や作品を見るのは大好きです。和田誠さんの作品と言えば、ポスターや絵本の挿絵、イラストなどよく目にしていましたが、映像や演出、執筆など長年にわたり、多方面で活躍された方ということが改めてよく分かりました。和田誠さんの幼少期からのイラストや絵日記なども展示してありました。小学校、中学、高校とずっとイラストやノートへの記録などを描き続けていて、美術大学へ進学し、仕事へとつながっていきます。子どもの時に描き始めたイラストをきっかけに一生の仕事に出会えて素敵だな、幸せな人だなと思いました。

### 【 学校教育目標 】

一人一人が輝く、楽しい学校

自ら考え主体的に行動する人を育む教育の推進  
～考える子・チャレンジする子・伝え合う子～



ホームページ  
QRコード



### 6月の生活目標

身の回りをきれいにしよう！ ～物を大切にしよう！！～

あかるいあいさつ！  
きれいな学校  
つながるころ！